

現場説明書（技術的事項）

工事名 福山市塗師屋住宅3号棟他解体工事

1. 現場の状況

- ・工事場所は、福山市塗師屋住宅の敷地内です。
- ・周辺は近隣住宅の住人及び市営住宅の入居者が、日常の生活をしています。

2. 留意事項

- ① 工事工程表・工事内容の説明書を作成し、近隣住宅・市営住宅等へ配布し周知に努めるとともに第三者への安全には細心の注意を払い、その対策を講じてください。
- ② 工事車両の出入りに際しては、一般車輛・歩行者の通行の支障とならないよう、工事用出入口の仮設計画に十分配慮すると共に、工事用出入口から前面道路及び敷地内通路へ泥を持ち出すことのないよう十分留意してください。
- ③ 近隣住宅に近接しています。工事期間中の作業に伴う騒音及び振動、粉塵等の飛散防止に努めてください。
- ④ 実施工程表は契約後14日以内に提出してください。その際、作業工程については監督員・住宅管理人と十分協議調整の上、作成してください。また、施工計画書等の承諾は速やかに受けてください。
- ⑤ 本工事は、建設リサイクル法対象工事に該当します。特定建設資材の再資源化に努めるとともに、産業廃棄物においても適切に処理してください。
- ⑥ 工事施工上必要な官公署への手続きは、施工業者の責任において速やかに行ってください。
- ⑦ 本工事受注者は、地元企業・地場製品の活用に努めてください。

3. 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に係る設計変更等

1 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、次のとおり実施に努めること。

(1) 「3つの密を避けるための手引き」の活用

各現場に配布し工事等の関係者に周知を図るとともに、作業所等で掲示を行う。

・https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html#kokumin

(2) 「建設現場の「三つの密」の回避等に向けた取組事例」の活用

各現場に配布し始業前の朝礼やKY活動等において工事等の関係者に周知を図る。

・http://chotatsu.pref.hiroshima.jp/file/kakudaibousi_5.pdf

※各現場での対策事例については、TwitterやFacebook等のSNS活用により普及・展開に努めてください。

例) 「#建設現場の3密対策」を付けたツイートが行われるよう同ハッシュタグを周知する等

- 2 上述の1を参考に、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策を実施することにより追加費用が発生する場合は、実施計画書（様式1）により監督員と事前に協議を行い、必要と認められる対策については変更施工計画書（変更業務計画書）を提出する。
なお、必要と認められる対策については、設計変更の対象とする。
- 3 最終精算変更時点においては、実際に履行したことがわかる全ての証明書類（領収書の写し、領収書の出ないものは金額の妥当性を証明する書類等）及び実績報告書（様式2）を監督員に提出する。
- 4 受注者から提出された資料に虚偽の申告があった場合については、法的措置及び指名除外等の措置を行う場合がある。
- 5 疑義が生じた場合は、監督員と協議すること。

【設計変更の対象とする対策に係る費用の例】

＜共通仮設費＞

○労働者宿舎での密集を避けるための、近隣宿泊施設の宿泊費・交通費

○現場事務所や労働者宿舎等の拡張費用・借地料

※いずれも、その後の積算における現場管理費率や一般管理費率による計算の対象外とする。

＜現場管理費（業務においては直接経費）＞

○現場従事者のマスク、インカム、シールドヘルメット等の購入・リース費用

○現場に配備する消毒液、赤外線体温計等の購入・リース費用

○テレビ会議等のための機材・通信費

※いずれも、その後の積算における一般管理費等率による計算の対象外とする。

このほかにも、感染拡大防止のために必要と認められる対策については、設計変更の対象とする。

I. 工事概要

1. 工事名称 福山市塗師屋住宅3号棟他解体工事
2. 工事場所 福山市新市町地内
3. 工事概要 建物解体工事 一式
・解体建物 3号棟 コンクリートブロック造平家建 4戸 延べ面積 127.60㎡
木造平家建 3棟 延べ面積 29.61㎡
・解体建物 8号棟 コンクリートブロック造平家建 2戸 延べ面積 63.80㎡
木造平家建 2棟 延べ面積 29.60㎡
・その他解体構造物 伏探、便槽、土間コンクリート、屋外排水樹等撤去
・解体後敷地整備工事 一式
4. 別途工事 なし
5. 工事範囲 建物の撤去は基礎までとし、給水管、排水管、ガス管、電線等も全て撤去処分とする。
6. 工事仕様 1. 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修、公共建築工事標準仕様書(平成31年版)、建築物解体工事共通仕様書(平成31年版)・同解説による。
2. 本工事受注者は、地元企業及び地場製品の積極的な活用を努める。
3. 図面に記載されていない事項及び疑義が生じた場合は、監督員と協議する。
4. 本工事の工期は工事検査期間として14日を含んでいる。
5. 工程表の提出 契約後14日以内に実施工程表を提出する。
6. 本工事受注者は、関係官公署への必要な手続きを代行する。(官公署手続きは監督員の承諾後とする。)

II. 特記仕様

1. 特記事項は○のついたものを適用する。
2. ○のつかない場合は、*印のついたものを適用する。

III. 特記事項

1. 適用法令等
* 廃棄物の処理及び清掃に関する法律 * 労働安全衛生法
* 建設廃棄物処理指針 * 石綿障害予防規則
* 建設副産物適正処理推進要綱 * 建設工事公衆災害防止対策要綱
* 建設工事安全施工技術指針
* 建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律(建設リサイクル法)

2. 監理(主任)技術者
* 建設業法により主任技術者(下請を含む。)を定め、工事現場内において工事名・工期・写真・所属会社名及び証明印の入った名札を着用する。

3. 本工事は、建設副産物情報交換システム(財)日本建設情報総合センターの登録対象工事であり、受注者は施工計画時、工事完了時及び登録情報の変更が生じた場合は速やかに当該システムにデータの入力を行う。

4. 工事実績情報の登録
○受注者は、次表に従い、工事実績情報を登録する。登録内容について、あらかじめ監督員の承諾を受けたのちに、次表の期間内に登録申請を行う。ただし、期間には、土曜日、日曜日、祝日、年末年始の閉庁日を除く。

請負金額	工事受注時	登録内容の変更時	工事完成時
500万円以上	契約後10日以内	変更契約後10日以内	工事完成後10日以内

変更登録は、工期、技術者等に変更が生じた場合に行う。(請負代金のみ変更の場合、登録不要)

※ 登録後は速やかに登録されたことを証明する資料を監督員に提出する。

なお、変更時と工事完成時の間が10日に満たない場合は、変更時の提出を省略できる。(登録要)

5. 仮設工事
1) 仮囲い等 ○ 工事範囲敷地周囲 シート仮囲い(H=4.0m)、単管バリケード
- 2) 工事用水・工事用電力 既設の施設 ・有償利用 ・無償利用 ○利用できない
- 3) 交通誘導員 ・常時配置 ○危険時配置 ・配置しない
交通誘導員の積上げ人数は、交通誘導員B 8人を見込んでいる。
- 4) 雨水排水の処理 ○工事範囲内の雨水排水は周囲に迷惑のないよう適正に処理する。

※ 「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。

6. 計画書等
工事に先立って次の計画書及び書面を提出する。
* 解体工事施工計画書 2部(1部返却)
総合仮設計画、安全対策計画、解体処分計画含む
* 建設廃棄物処理計画書 2部(1部返却)
添付書類 二者の委託契約書の写し
廃棄物処理業者(収集、運搬、中間処理最終処分)の許可の写し、処分場の位置及び運搬ルート
* 再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書 2部(1部返却)
* 「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」(建設リサイクル法)による対象建設工事に係る書面(法第12条第1項・法第13条及び省令第4条) 各2部

7. 解体工事
1) 一般事項
* 工事中は必要に応じ散水を行い、粉塵の飛散を抑制する。
* 工事中は騒音、振動の発生の抑制及び道路の汚染防止に努める。
* 工事施工中に周辺建物、既存建物、塀、その他に損害を与えた場合は、受注者の責任において、速やかに復旧及び解決をする。
* 「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」(建設リサイクル法)に定める順序、工法によって施工する。
* 第三者の安全に細心の注意を払い安全に努める。
2) 分別解体等
* 次の特定建設資材については分別解体を行う。
○コンクリート ○コンクリート及び鉄からなる建設資材
○アスファルトコンクリート ○木材
* 廃石膏ボードは管理型処分場又は廃石膏ボードの中間処理の許可を受けた施設に適切に処分する。
* PCB入り安定器等の撤去
・別途工事 ・撤去し指定の場所へ運搬する ○含まれていない
* 蛍光管は取り外しの上、適切に処理する。
3) アスベスト成形板の処理(屋根スレート、セメント瓦、軒天、破風板、鼻隠し板、妻側山形壁、天井ケイカル板)

- * この工事に当たっては、関係法令に基づいて施工するものとするが、次のものも参考にする。
・既存建築物の吹付けアスベスト粉じん飛散防止処理指針・同解説
・建築物の解体工事における石綿粉じんのばく露防止マニュアル(日本建設業災害防止協議会)
・建築物解体工事に伴う石綿粉じん防止対策について(環境省平成13年3月)(日本建築センター平成4年7月)
* 石綿作業主任者は次の資格を有するものを配置する。
・石綿障害予防規則(平成17年厚生労働省令第21号。以下、「石綿則」という。)に基づき、石綿作業主任者の選任を行う。なお、石綿作業主任者は、石綿作業主任者技能講習修了者、又は平成18年3月以前の特定化学物質等作業主任者の有資格者とする。
* 作業範囲は立ち入り禁止の掲示をする
* 安全衛生対策 作業者の呼吸用保護具は国家検定品(等級:RL2、RS2)を使用する。
* 石綿に関する作業者の特別教育はあらかじめ受注者の責任において行う。

8. 整地工事
1) 整地 * 解体工事範囲内は敷き均しとする。(図示の通り)(水勾配付)
9. 運搬、処分

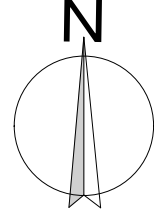
- 1) 一般事項
* 廃棄物の処理及び清掃に関する法律を遵守し、建設廃棄物処理指針に基づき適正に処理する。
* 原則として厚生労働省が示す全国统一のマニフェストを使用し、廃棄物も管理をする。
* 発生材搬出の際、道路に砂、破片等が落ちないように充分注意し、落ちた場合は、直ちに撤去清掃する。また、完了時には道路及び進入路の清掃をする。
* 受注者は計画どおりに建設廃棄物が適切に処理されたことの確認をする。
2) 再資源化
* 次の特定資材は再資源化をする。
○コンクリート ○コンクリート及び鉄からなる建設資材
○アスファルトコンクリート ○木材

10. 完成時提出書類
1) 着手前・工事中及び完成時写真(処分状況の写真共)
* サービス版カラー 写真帳 A4版 1部
2) 処分の実績報告 1部
* 建設廃棄物処理実施書
* 再生資源利用実施書・再生資源利用促進実施書
* マニフェスト(D・E票)の写し及びその集計表

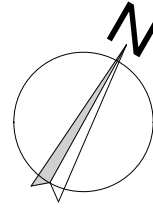
11. 安全対策
施工に際しては、関係法令を遵守し工事現場内の安全をはかる。

12. その他
本工事で発生する建設廃棄物のうち、広島県内の最終処分場に搬入する建設廃棄物については広島県産業廃棄物埋立税が課税されるので適正に処理する。なお本工事では広島県産業廃棄物埋立税相当額を見込んでいる。

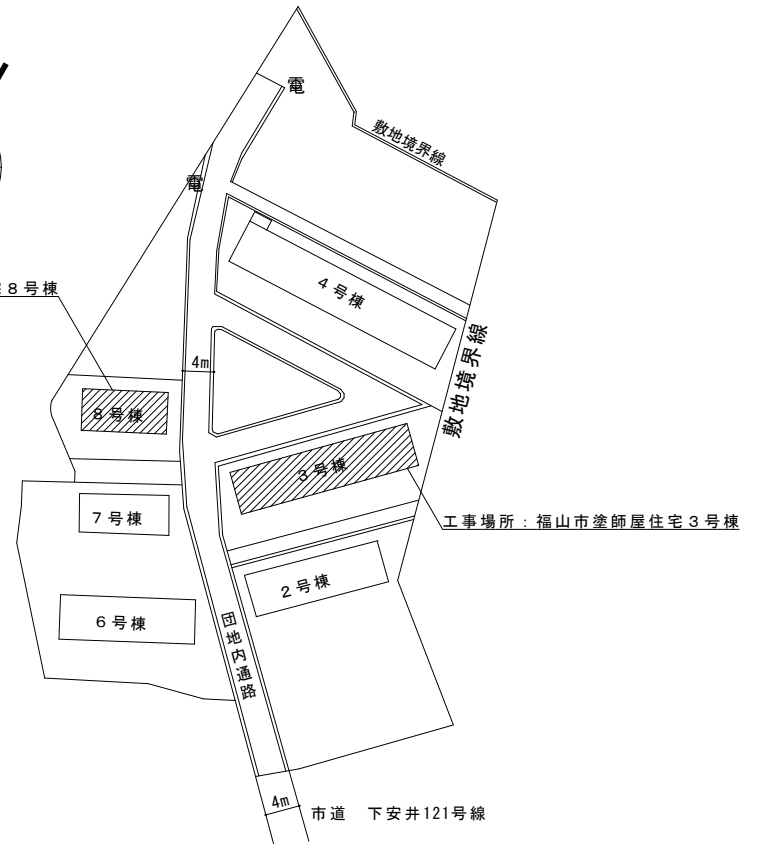
13. 自社施工を求める対象工種
* 本工事は、受注者と直接的な雇用関係にある技術者及び作業員等により、次の工種を全て施工しなければならない。
解体工(仮設工事及び産業廃棄物の収集運搬処分等付帯工事並びに敷地整地工事は除く。)



附近見取図 S=Non Scale



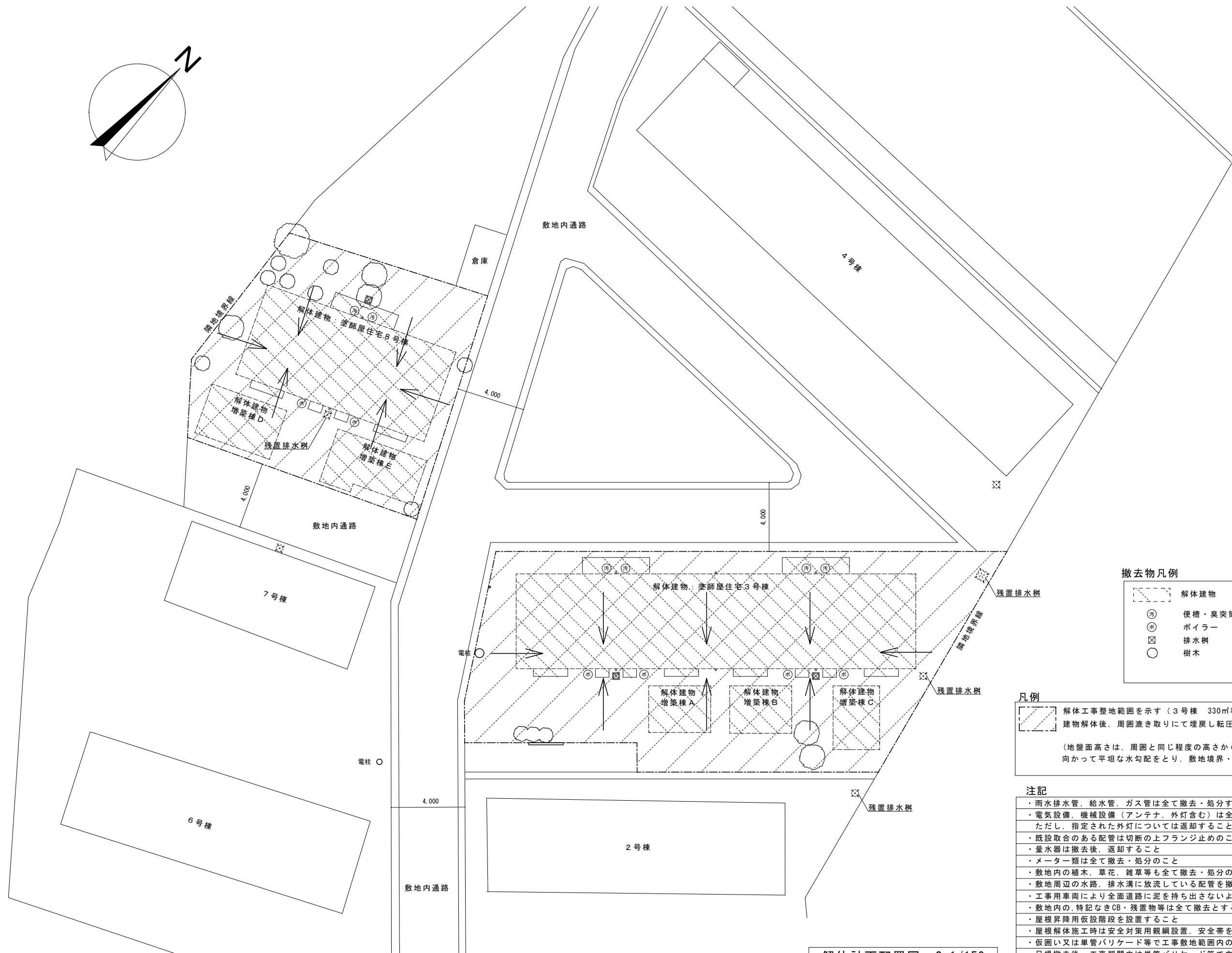
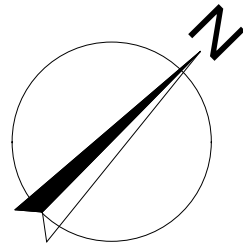
工事場所: 福山市塗師屋住宅8号棟



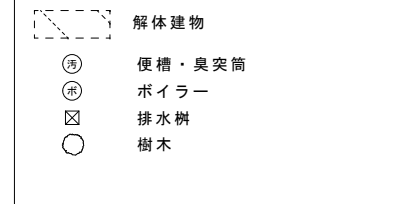
配置図 S=Non Scale

主務	課員	次長	課長補佐	営繕課長	建築部長

	工事名称 福山市塗師屋住宅3号棟他解体工事	福山市建設局建築部営繕課			図面No
	図面名称 特記仕様書・附近見取図・配置図	編尺 S=Non Scale	2021年 11月		1 5



撤去物凡例



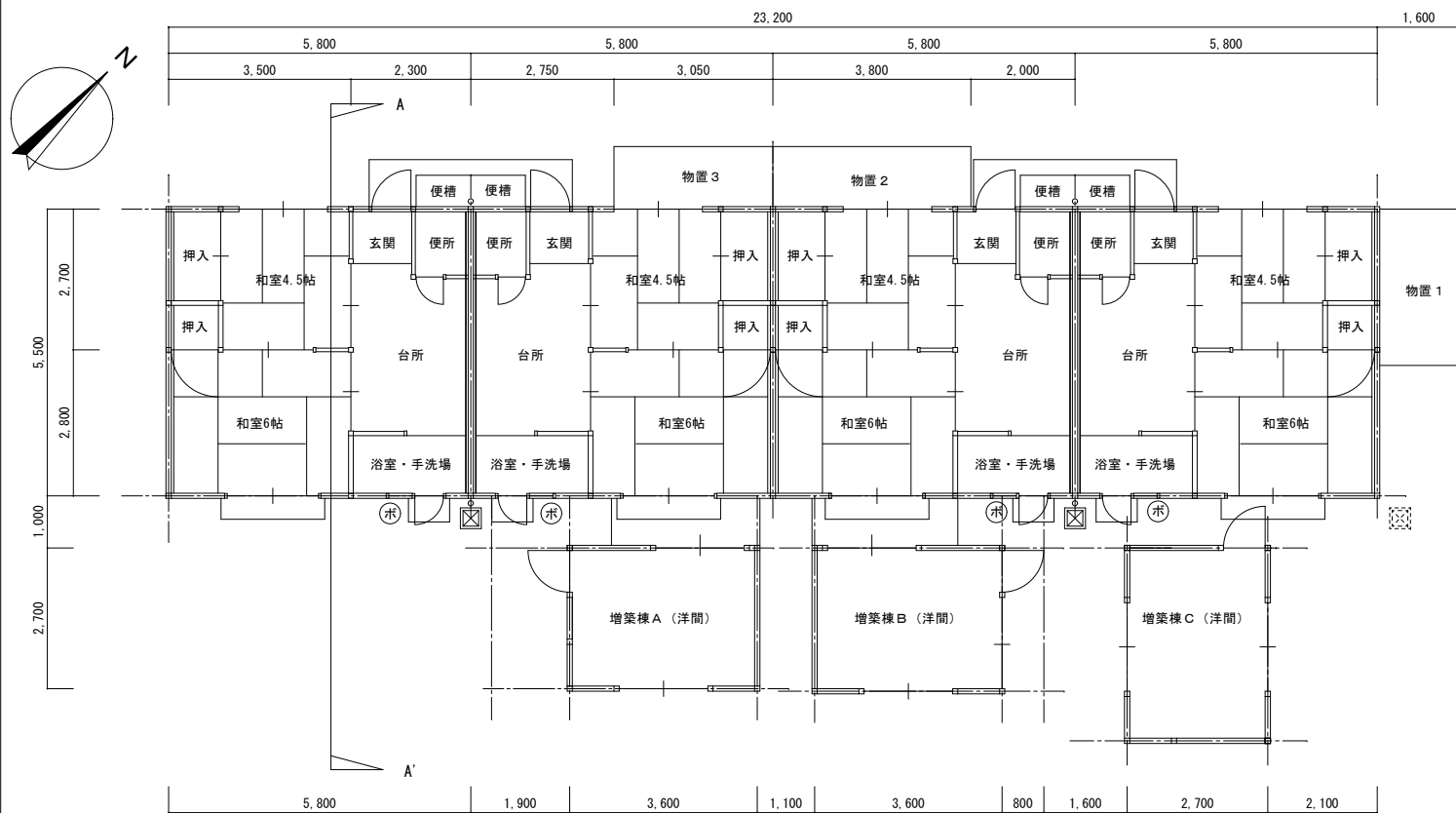
凡例

解体工事整地範囲を示す(3号棟 330㎡程度, 8号棟 187㎡程度)
 建物解体後, 周囲瀝き取りにて埋戻し転圧の上, RC碎石(厚50程度)にて敷均しとする。
 (地盤面高さは, 周囲と同じ程度の高さから, 水溜まりができないように, 中央部へ向かって平坦な水勾配をとり, 敷地境界・既存建物側に排水が流れないようにすること)

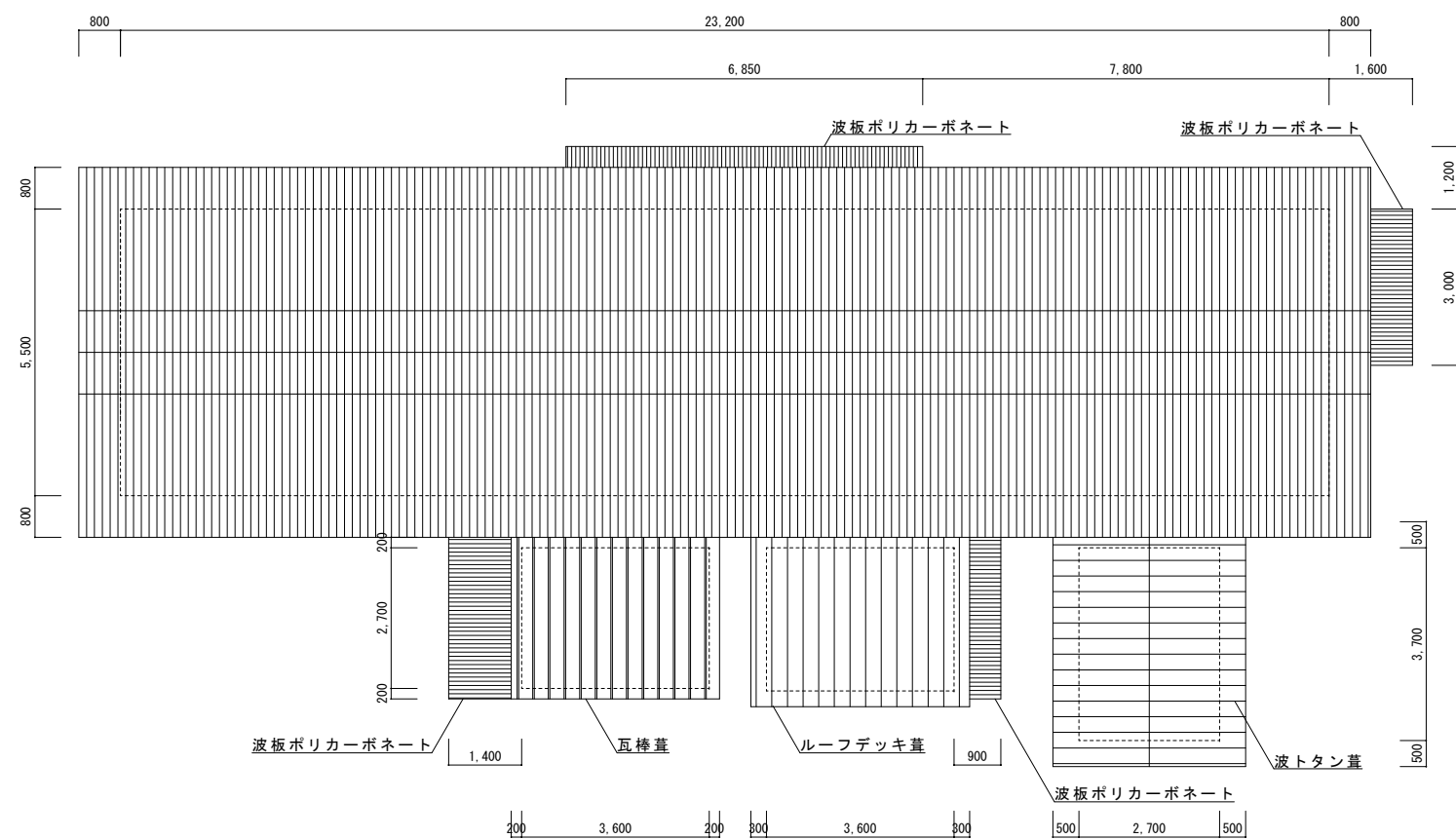
注記

- ・雨水排水管, 給水管, ガス管は全て撤去・処分すること
- ・電気設備, 機械設備(アンテナ, 外灯含む)は全て撤去・処分のこと
ただし, 指定された外灯については返却すること
- ・既設取合のある配管は切断の上フランジ止めすること
- ・量水器は撤去後, 返却すること
- ・メーター類は全て撤去・処分すること
- ・敷地内の植木, 草花, 雑草等も全て撤去・処分すること
- ・敷地周辺の水路, 排水溝に放流している配管を撤去した開口部はモルタル等で補修のこと
- ・工事用車両により全面道路に泥を持ち出さないよう対策を講ずること
- ・敷地内の, 特記なきCB・残置物等は全て撤去とする
- ・屋根昇降用仮設階段を設置すること
- ・屋根解体施工時は安全対策用親綱設置, 安全帯を使用すること
- ・仮囲い又は単管バリケード等で工事敷地範囲内の立入禁止措置を設けること
- ・足場撤去後, 工事期間中は単管バリケード等で立入禁止措置を設けること
- ・足場組立・解体時・廃材搬出時等, 必要に応じて誘導員を配置すること

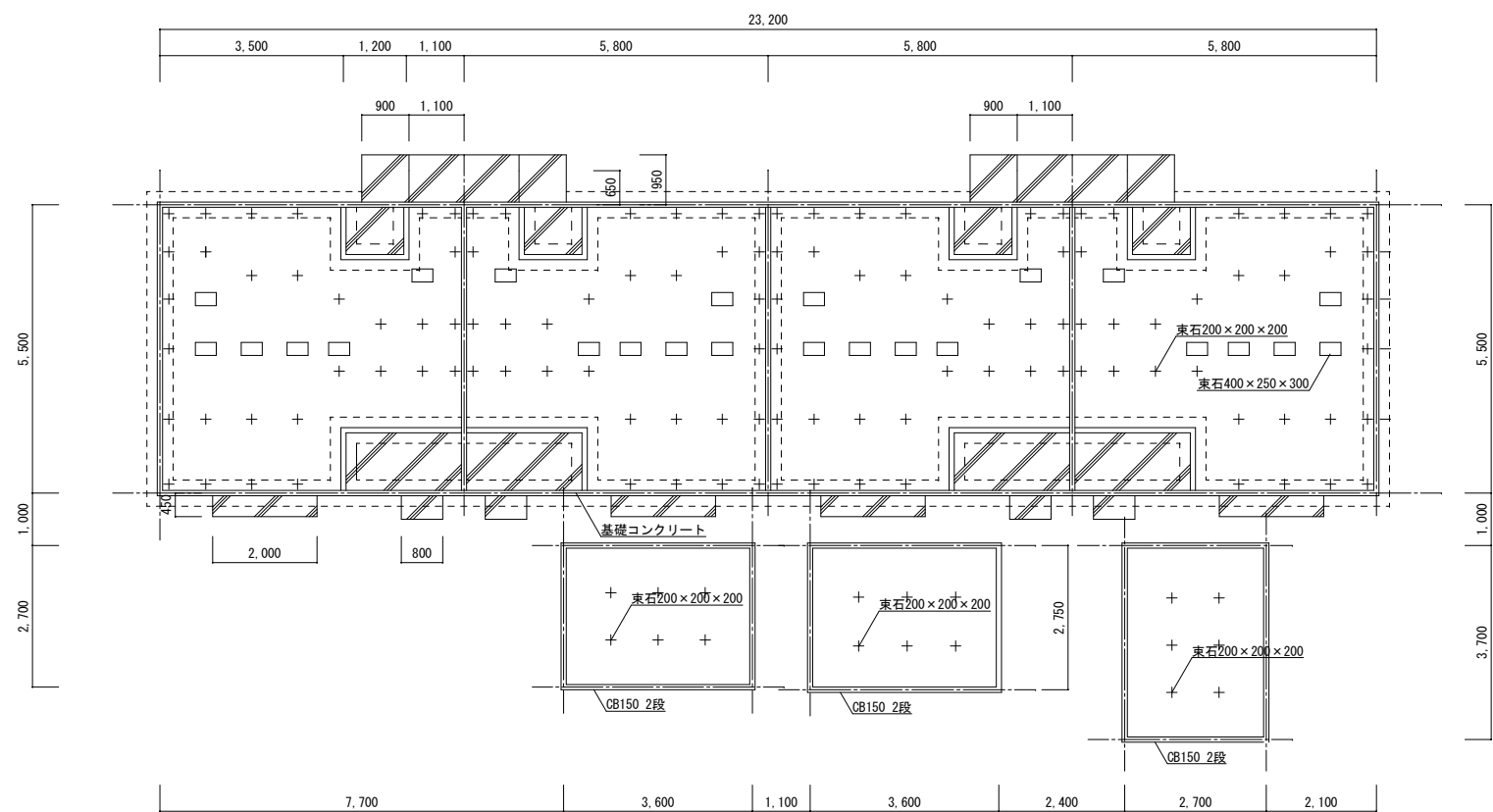
解体計画配置図 S=1/150



3号棟 平面図 S=1/100

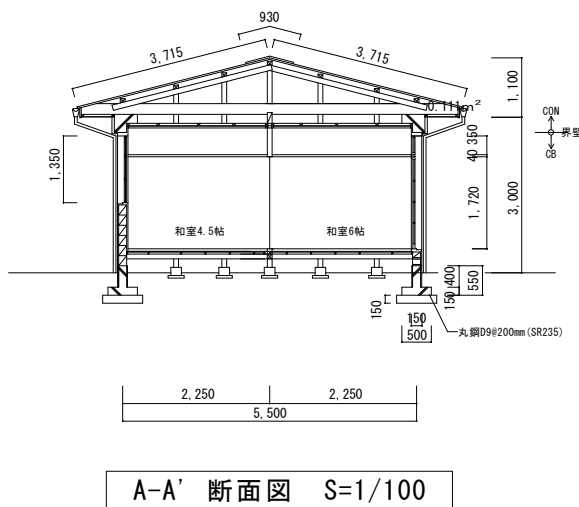
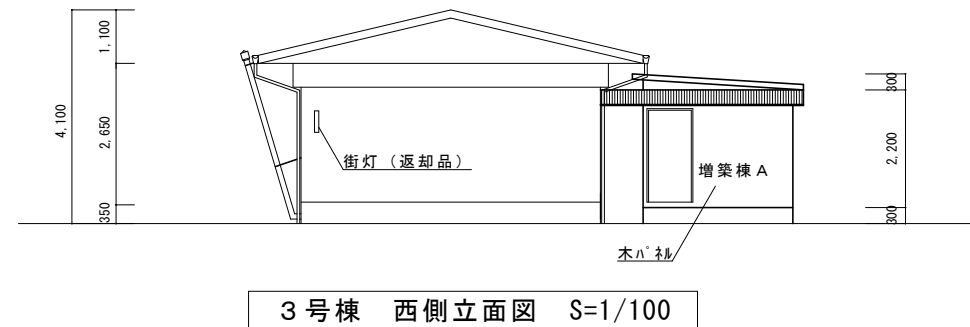
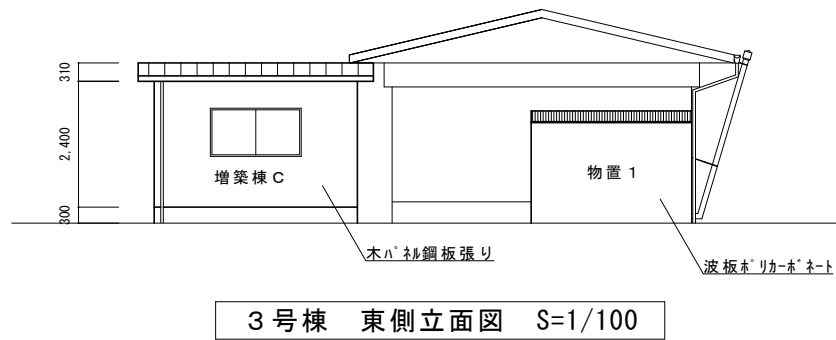
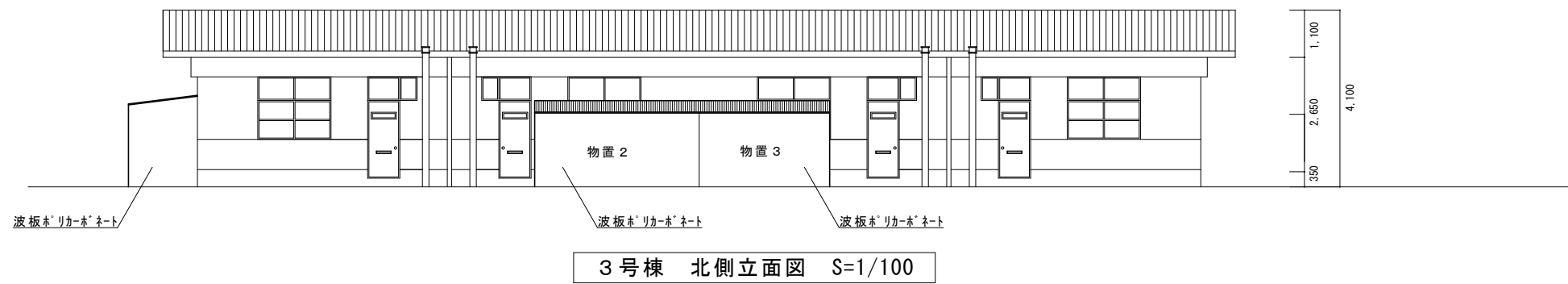
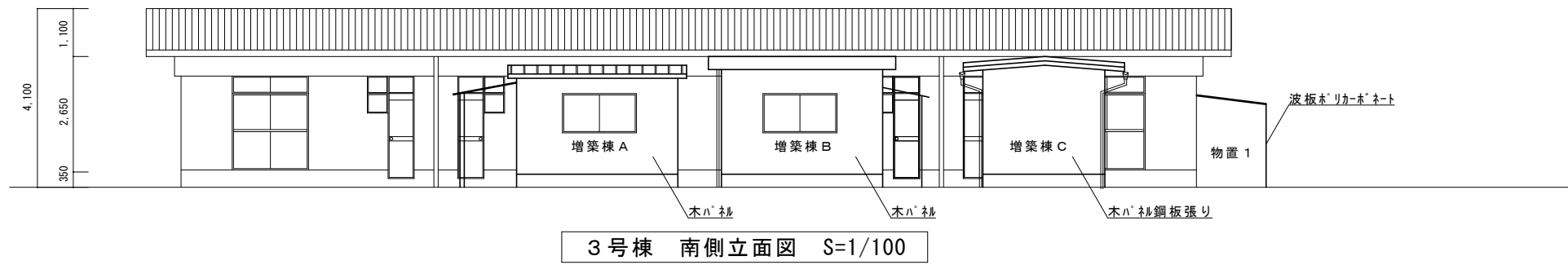


3号棟 屋根伏図 S=1/100



3号棟 基礎伏図 S=1/100

内部仕上げ表				
室名	床	壁	天井	備考
玄関	モルタル金コシ仕上	外壁側: モルタル下地 内壁側: 土壁・漆喰仕上	ケイカル板(石綿) t=6 塗装仕上	
台所	フローリング t=15	外壁側: モルタル下地 内壁側: 土壁・漆喰仕上 天井側: CB積み 土壁・漆喰仕上	ケイカル板(石綿) t=6 塗装仕上	流し台, 吊戸棚
和室6帖	瓦板 t=13下地 畳敷きt=55	外壁側: モルタル下地 内壁側: 土壁・漆喰仕上 天井側: CB積み 土壁・漆喰仕上	ケイカル板(石綿) t=6 塗装仕上	
和室4.5帖	瓦板 t=13下地 畳敷きt=55	外壁側: モルタル下地 内壁側: 土壁・漆喰仕上 天井側: CB積み 土壁・漆喰仕上	ケイカル板(石綿) t=6 塗装仕上	
浴室	モルタル金コシ仕上	外壁側: モルタル下地 内壁側: 土壁・漆喰仕上 天井側: モルタル金コシ仕上 CB積み 土壁・漆喰仕上	ケイカル板(石綿) t=6 塗装仕上	浴槽(IPP ステンレス) 手洗い器
便所	フローリング t=15	外壁側: モルタル下地 内壁側: 土壁・漆喰仕上 天井側: CB積み 土壁・漆喰仕上	ケイカル板(石綿) t=6 塗装仕上	便器
押入	フローリング t=15	ラワンベニヤ t=4	ラワンベニヤ t=4	
増築A 洋室	フローリング t=15	ホバネル(ラワンベニアt=6)	ホバネル(ラワンベニアt=6)	
増築B 洋室	フローリング t=15	ホバネル(ラワンベニアt=6)	ホバネル(ラワンベニアt=6)	
増築C 洋室	フローリング t=15	ホバネル(ラワンベニアt=6)	ホバネル(ラワンベニアt=6)	



外部仕上げ表

	基礎	巾木	外壁	軒裏	屋根
母屋	コンクリート	モルタル刷毛引	セメントリシン吹付	石綿防火板	大波スレート葺(石綿) 妻側山形壁 石綿防火板
増築A	OB150 2段	—	木パネル(ラワンベニアE-9)	—	金属トタン葺
増築B	OB150 2段	—	木パネル(ラワンベニアE-9)	—	金属トタン葺
増築C	OB150 2段	—	木パネル(ラワンベニアE-9) 下地鋼板張り	—	金属トタン葺
物置1・2・3	—	—	波板ポリカーボネート	—	波板ポリカーボネート

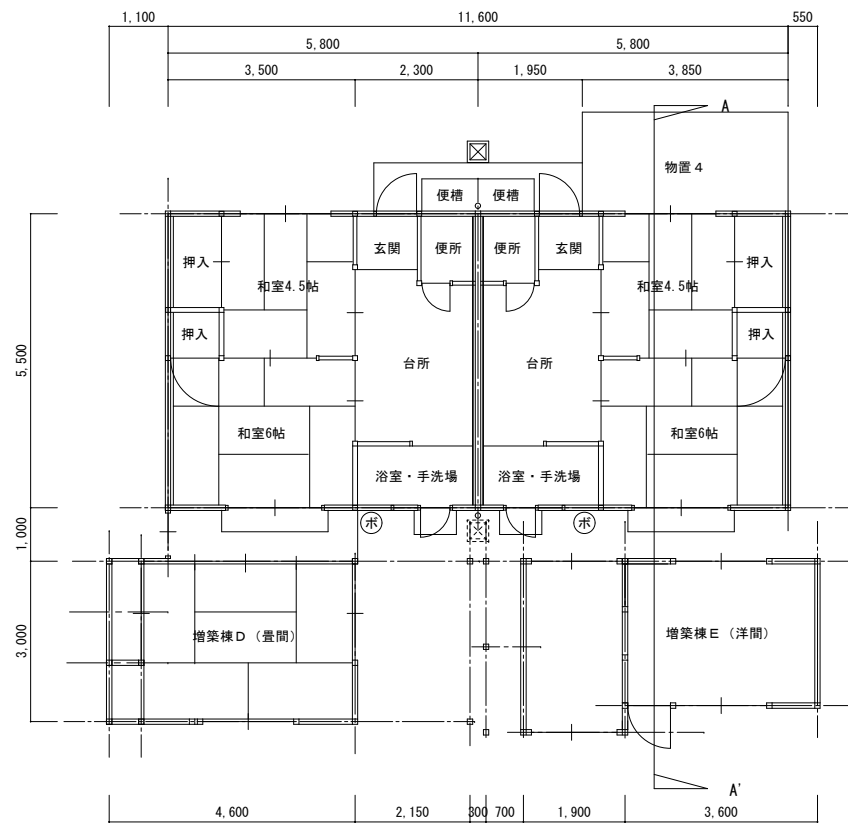
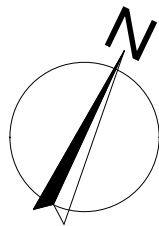


工事名称
福山市塗師屋住宅3号棟他解体工事
図面名称
立面図・断面図

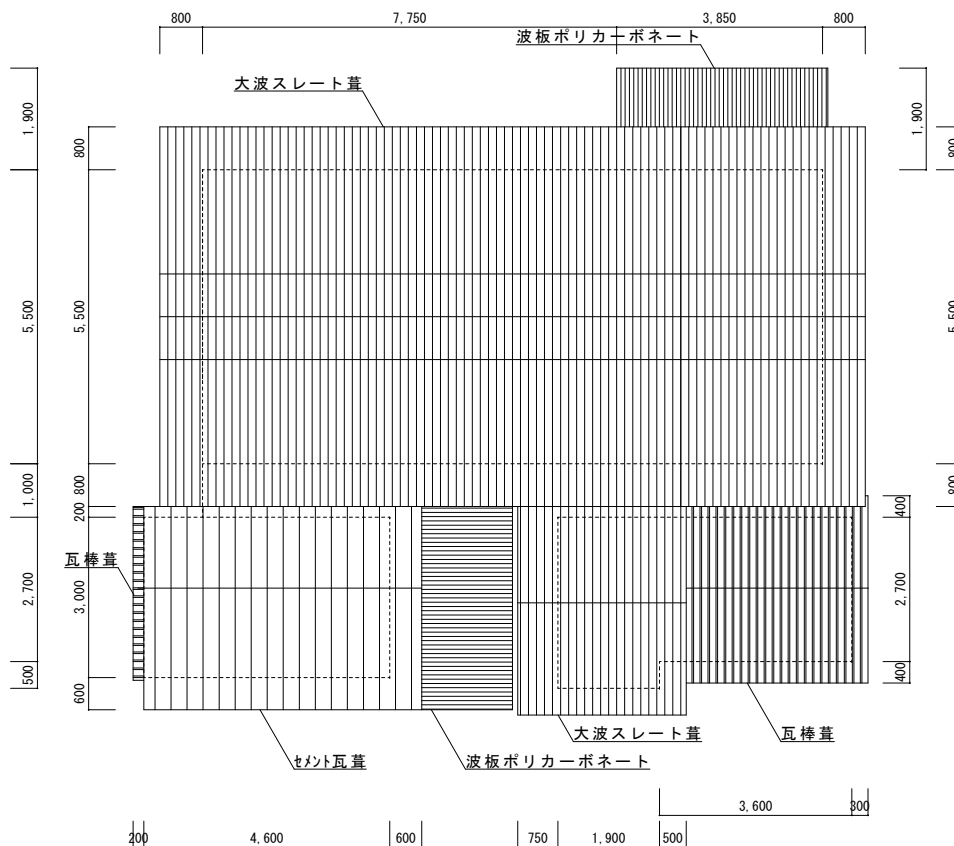
縮尺
S=1/100

福山市建設局建築部営繕課
2021年 11月

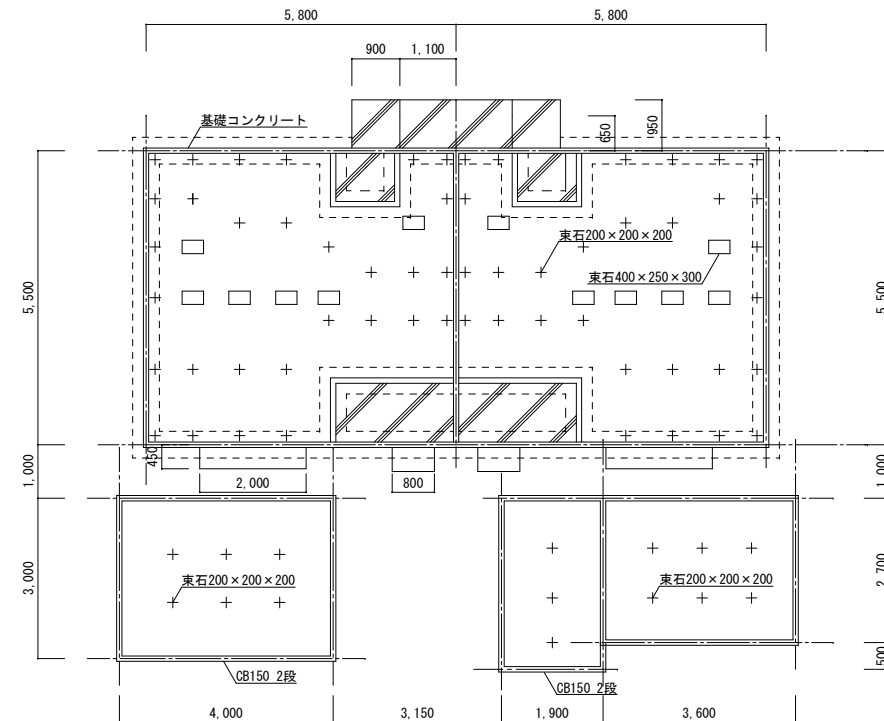
図面No
4
5



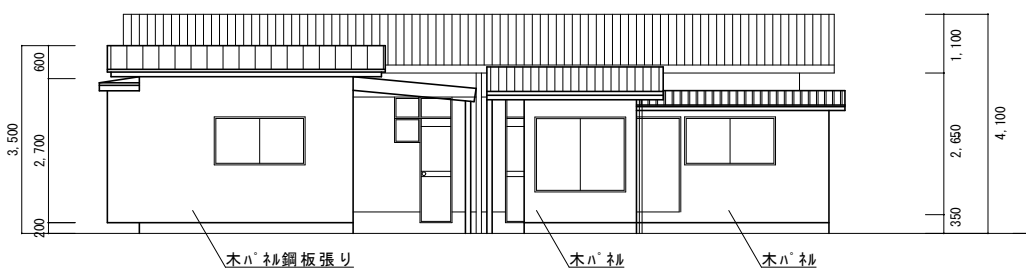
8号棟 平面図 S=1/100



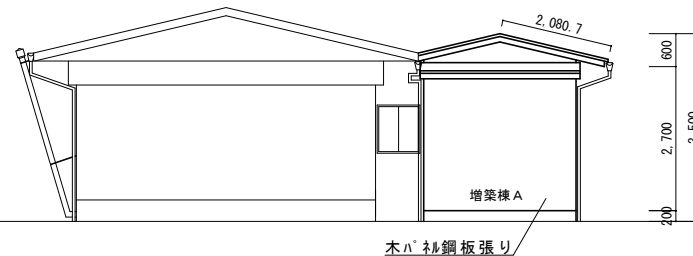
8号棟 屋根伏図 S=1/100



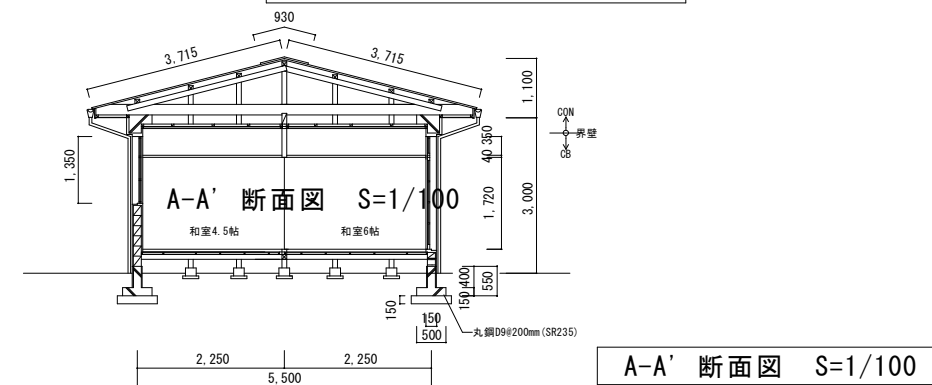
8号棟 基礎伏図 S=1/100



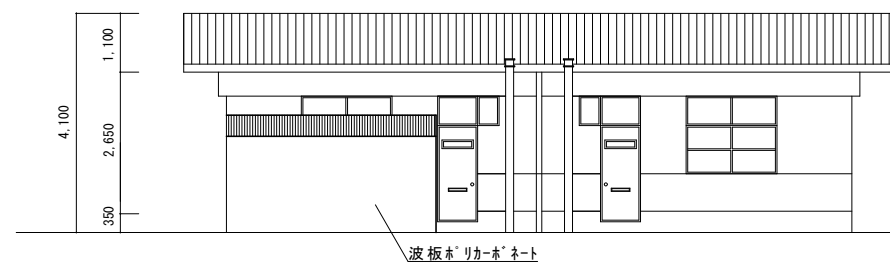
8号棟 南側立面図 S=1/100



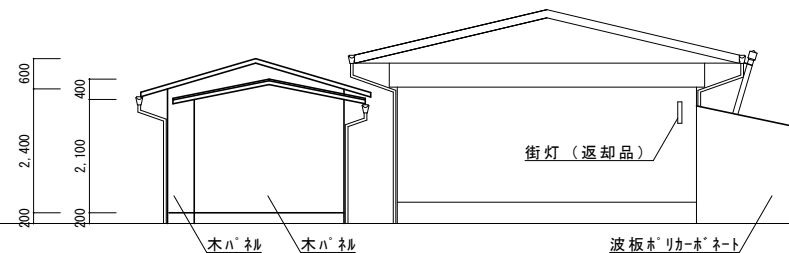
8号棟 西側立面図 S=1/100



A-A' 断面図 S=1/100



8号棟 北側立面図 S=1/100



8号棟 東側立面図 S=1/100

外部仕上げ表

	基礎	巾木	外壁	軒裏	屋根
母屋	コンクリート	モルタル刷毛引	セメントリシン吹付	石綿防火板	大波スレート葺(石綿) 妻側山形壁 石綿防火板
増築D	CB150 2段		木ハネ鉄(ラワンベニアt=9) 下地鋼板張り		セメント瓦葺(石綿)
増築E	CB150 2段		木ハネ鉄(ラワンベニアt=9)		大波スレート葺(石綿) 金属トタン葺
物置			波板ポリカーボネート		波板ポリカーボネート

内部仕上げ表

室名	床	壁	天井	備考
玄関	モルタル金コテ仕上	外壁側: モルタル下地 内壁側: 土壁・漆喰仕上	ケイカル板(石綿) t=6 塗装仕上	
台所	フローリング t=15	外壁側: モルタル下地 内壁側: 土壁・漆喰仕上 界壁部: CB積み 土壁・漆喰仕上	ケイカル板(石綿) t=6 塗装仕上	流し台、吊戸棚
和室6帖	畳板 t=13下地 畳敷きt=55	外壁側: モルタル下地 内壁側: 土壁・漆喰仕上 界壁部: CB積み 土壁・漆喰仕上	ケイカル板(石綿) t=6 塗装仕上	
和室4.5帖	畳板 t=13下地 畳敷きt=55	外壁側: モルタル下地 内壁側: 土壁・漆喰仕上 界壁部: CB積み 土壁・漆喰仕上	ケイカル板(石綿) t=6 塗装仕上	
浴室	モルタル金コテ仕上	外壁側: モルタル下地 内壁側: モルタル金コテ仕上 CB積み 土壁・漆喰仕上	ケイカル板(石綿) t=6 塗装仕上	浴槽(防) 手洗い器
便所	フローリング t=15	外壁側: モルタル下地 内壁側: 土壁・漆喰仕上 界壁部: CB積み 土壁・漆喰仕上	ケイカル板(石綿) t=6 塗装仕上	便器
押入	フローリング t=15	ラワンベニア t=4	ラワンベニア t=4	
増築D 洋室	畳板 t=13下地 畳敷きt=55	木ハネ鉄(ラワンベニアt=6)	木ハネ鉄(ラワンベニアt=6)	
増築E 洋室	フローリング t=15	木ハネ鉄(ラワンベニアt=6)	木ハネ鉄(ラワンベニアt=6)	



参考数量書

§ 工事名称 福山市塗師屋住宅3号棟他解体工事

§ 工事場所 福山市新市町地内

特記事項

- 1 この数量書は、福山市建設工事請負契約約款1条に定める「設計図書」ではなく参考数量です。従って、契約後の変更等を含意するものではありません。
- 2 数量の算出は次の基準によっています。

※ 「建築数量積算基準・同解説」 (建築工事建築数量積算研究会制定)

設 計 書

工事名称 福山市塗師屋住宅3号棟他解体工事

工事場所 福山市新市町地内

【工事概要】

建物解体工事 一式

- ・解体建物
 - 3号棟 コンクリートブロック造平家建 4戸 延床面積 127.60㎡
 - 離れ 木造平家建 3棟 延床面積 29.61㎡
 - 8号棟 コンクリートブロック造平家建 2戸 延床面積 63.80㎡
 - 離れ 木造平家建 2棟 延床面積 29.60㎡
- ・その他構造物
伐採，便槽，土間コンクリート，屋外排水桝等撤去
- ・解体後敷地整備工事 一式

名 称	数 量	単 位	金 額	備 考
直接工事費				
直 接 工 事 費	1	式		
計				
共通費				
共通仮設費	1	式		
現場管理費	1	式		
一般管理費等	1	式		
計				
工事価格	1	式		
消費税等相当額	1	式		消費税率 10 %
工事費	1	式		

3号棟解体工事		3号棟建物解体工事		建物解体		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
内部造作材撤去	住宅 積込共	128	延㎡			
天井ケイブル撤去	アスベスト含有 浴室・台所・玄関・便所	107	㎡			
成形板除去 アスベスト含有	屋根材(スレート波板程度)	207	㎡			
軒天井ボード撤去	アスベスト含有	48.5	㎡			
妻側山形壁・破風板・鼻隠し材撤去	アスベスト含有	15.2	㎡			
屋根小屋組撤去	積込共	128	㎡			
CB造上屋解体		20	m3			
基礎コンクリート撤去	ブレイカ・圧砕機併用	15.3	m3			
壁コンクリート撤去	ブレイカ・圧砕機併用 界壁・臥梁	8.8	m3			
土間コンクリート撤去	ブレイカ・圧砕機併用 玄関前,浴室前,和室6帖前,樹蓋	3.4	m3			
積込み	コンクリート・モルタル類 機械	47.5	m3			
木造上屋解体	手こわし併用機械解体 内部造作撤去・集積共	29.6	㎡			
浴槽撤去		4	か所			
ボイラー撤去		4	か所			
便槽撤去	埋戻し共	4	か所			
流し台・コンロ台 ・手洗器撤去		4	か所			
とりこわし機械 運搬 (ハースマシン, ハックホウ)	排出ガス対策型 油圧式クローラ型0.5m3	1	往復			
計						

8号棟解体工事		8号棟建物解体工事		建物解体		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
内部造作材撤去	住宅 積込共	63.8	延㎡			
天井ケイブル撤去	アスベスト含有 浴室・台所・玄関・便所	59.5	㎡			
成形板除去 アスベスト含有	屋根材(スレート波板程度)	123	㎡			
軒天井ボード撤去	アスベスト含有	29.9	㎡			
妻側山形壁・破風板・鼻隠し材撤去	アスベスト含有	15.2	㎡			
屋根小屋組撤去	積込共	63.8	㎡			
CB造上屋解体		11.8	m3			
基礎コンクリート撤去	ブレイカ・圧砕機併用	9.5	m3			
壁コンクリート撤去	ブレイカ・圧砕機併用 界壁・臥梁	4.6	m3			
土間コンクリート撤去	ブレイカ・圧砕機併用 玄関前, 浴室前, 和室6帖前, 樹蓋	1.7	m3			
積込み	コンクリート・モルタル類 機械	52.8	m3			
木造上屋解体	手こわし併用機械解体 内部造作撤去・集積共	29.6	㎡			
浴槽撤去		2	か所			
ボイラー撤去		2	か所			
便槽撤去	埋戻し共	2	か所			
流し台・コンロ台 ・手洗器撤去		2	か所			
計						

3号棟解体工事		3号棟建物解体工事		直接仮設工事		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
枠組本足場 (両妻部分)	建枠600×1700 掛払い手間, 運搬費, 維持管理費共 30日	1	式			別紙 00-0004
枠組本足場 (手すり先行方式)	建枠 600×1700 布枠500×1枚 掛払い手間 12m未満 - -	54.5	m ²			
枠組本足場 (手すり先行方式)	建枠 600×1700 布枠500×1枚 供用30日賃料 修理費含む 12m未満 - -	54.5	m ²			
枠組本足場 (手すり先行方式)	建枠 600×1700 布枠500×1枚 基本料 修理費含む 12m未満 - -	54.5	m ²			
仮設材運搬 (枠組本足場) (手すり先行方式)	建枠幅600	54.5	m ²			
計						
単管一本足場	掛払い手間 10m未満 運搬費, 維持管理費共 30日	1	式			別紙 00-0006
単管一本足場	掛払い手間 10m未満 -	220	m ²			
単管一本足場	供用30日賃料 修理費含む 10m未満 -	220	m ²			
単管一本足場	基本料 修理費含む 10m未満 -	220	m ²			
仮設材運搬 (単管一本足場)		220	m ²			
計						
養生シート張り	掛払い手間 10m未満 運搬費, 維持管理費共 30日	1	式			別紙 00-0009
養生シート張り	防災I類 掛払い手間 - -	275	m ²			
養生シート張り	防災I類 供用30日賃料 修理費含む - -	275	m ²			
養生シート張り	防災I類 基本料 修理費含む - -	275	m ²			
仮設材運搬 (シート・ネット類)		275	m ²			
計						

8号棟解体工事		8号棟建物解体工事		直接仮設工事		
名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
枠組本足場 (両妻部分)	建枠600×1700 掛払い手間, 運搬費, 維持管理費共 30日	1	式			別紙 00-0010
枠組本足場 (手すり先行方式)	建枠 600×1700 布枠500×1枚 掛払い手間 12m未満 - -	55.8	m ²			
枠組本足場 (手すり先行方式)	建枠 600×1700 布枠500×1枚 供用30日賃料 修理費含む 12m未満 - -	55.8	m ²			
枠組本足場 (手すり先行方式)	建枠 600×1700 布枠500×1枚 基本料 修理費含む 12m未満 - -	55.8	m ²			
仮設材運搬 (枠組本足場) (手すり先行方式)	建枠幅600	55.8	m ²			
計						
単管一本足場	掛払い手間 10m未満 運搬費, 維持管理費共 30日	1	式			別紙 00-0011
単管一本足場	掛払い手間 10m未満 -	144	m ²			
単管一本足場	供用30日賃料 修理費含む 10m未満 -	144	m ²			
単管一本足場	基本料 修理費含む 10m未満 -	144	m ²			
仮設材運搬 (単管一本足場)		144	m ²			
計						
養生シート張り	掛払い手間 10m未満 運搬費, 維持管理費共 30日	1	式			別紙 00-0012
養生シート張り	防災I類 掛払い手間 - -	200	m ²			
養生シート張り	防災I類 供用30日賃料 修理費含む - -	200	m ²			
養生シート張り	防災I類 基本料 修理費含む - -	200	m ²			
仮設材運搬 (シート・ネット類)		200	m ²			
計						

